

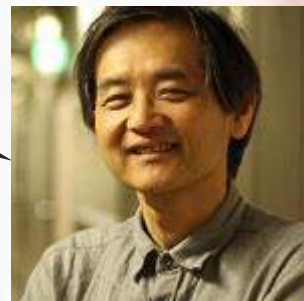
ウェビナータイトル：英語での論文執筆をマスターする

講師：田口善弘 教授（中央大学 理工学部 物理学科）

URL：<https://www.enago.jp/academy/how-to-master-the-art-of-writing-manuscripts-in-english/>

所要時間：53分30秒

ウェビナーで掘り下げたポイント

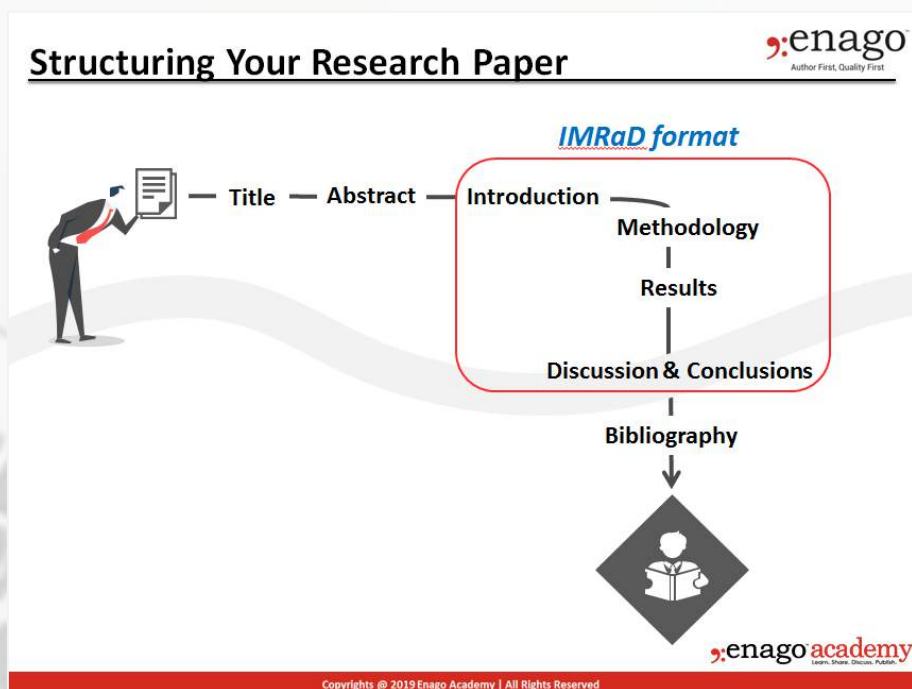


1. 英語でのライティングスキルの重要性

- 「出版されない研究は存在しないのと同じ」しかも学術出版は英語が基本（03:28）
- 国際的な共通言語で書かれていない学術論文は評価されない（04:34）

2. いかにして研究論文を構成し、それぞれのセクションを効果的に書くか

- 自分の研究と過去の研究を紐付ける**文献調査は丁寧に**（13:02）
- 学術論文を執筆する際は、タイトルも含めて何を言いたいのか、目的を明確に、**全体の論理的な流れに注意**（14:40）
- 学術論文の構成（例えば原著論文なら**IMRAD形式**）に従って、読者の目線に立って自分の考えを効果的に伝えることが大切（15:45）



3. 学術論文の英文法についての知識を深める

- 論文はなるべく能動態、章によって適正な時制で書き、論文全体の流れ・構成を最初から頭に入れておく (27:24) (29:20) (38:20)
- 単数/複数、正しい単語の選択など、英文法の理解を深めることは不可欠 (32:05)
- 集中して書き、何度も手直しをすることで質を改善 (40:00-)
- 英語をチェックしてもらえ人を探そう (40:00-)

4. 明瞭で、よどみなく、読みやすい原稿の重要性

- 読者に分かりやすいように、どの情報がどの章に書かれているかうまくガイドしよう (38:20)

5. 英語がネイティブでない研究者が起こしがちな英語ライティングのミス（解説は英語）

- 前置詞、冠詞、時制など、おかしがちな文法ミスを認識しておく（42:28）
- 構造的なミスは、文章の明快さと読みやすさに影響する（47:28）
- 大文字/小文字、スペースなどのスタイル上のミスも気を抜かずにチェック（50:52）

お役立ちリンク：

1. Language And Grammar Rules For Academic Writing（電子ブック、メールアドレスご登録後に無料ダウンロード可）
<https://www.enago.jp/academy/free-ebook-language-and-grammar-rules-for-academic-writing/>
2. 研究論文の書き方
<https://www.enago.jp/academy/how-to-write-a-research-paper/>
3. 論文の受理を目指す研究者がやるべき8つのこと
<https://www.enago.jp/academy/how-to-select-a-target-journal/>
4. 論文英語なんでも相談室
<https://www.enago.jp/academy/ask-english-expert/>

本ウェビナーでも英語ネイティブではない研究者が間違いやすい文法の例などを多数紹介していますが、エナゴアカデミーでは他にも論文執筆に役立つトピックを扱うウェビナーや英文ライティングに関するガイド、学術研究関連の情報を発信しています。ぜひご参考ください。

エナゴ学術英語アカデミー：<https://www.enago.jp/academy>